

「実務経歴書」「実務経歴証明書」の記入例

令和2年から書式が変更となりました。平成31年(令和元年)以前の書式は認めませんので、ご注意ください。

※この「実務経歴書」は、実務経験の勤務先ごとに記入して下さい。実務経験の勤務先が2箇所以上になる場合や建築実務の詳細を記入する欄(1)~(8)が不足している場合は、コピーをして使用して下さい。また、センターのホームページからダウンロードすることもできます。

1. 「実務経歴書」の記入例(実務経験の勤務先が2社ある場合)

●実務経験の勤務先1社目：表面

別紙1 **実務経歴書** 別紙2「実務経歴証明書」と併せて受験申込書の「証明書等貼付欄」に貼付して下さい。

この書式を記入した年月日を記入する。

受験申込者本人が氏名を記入する。

私は、二級建築士試験又は木造建築士試験を受験したいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和 2 年 4 月 10 日 氏名(自署) **建築 太郎**

公益財団法人 建築技術教育普及センター理事長 殿

現在の勤務先	勤務先(部課名まで)	勤務先所在地(番地まで)	勤務先電話番号
	(株)〇〇建設工務部工務課	東京都千代田区紀尾井町△-15	(048)753X-263X

学歴	学校名	学部名	学科・専攻名	昼夜間の別	修業年限	在学期間	卒業・中退の別
	□□ 中学校					3年制	S10年4月から S13年3月まで
◇◇ 高等学校		普通	専攻コース	夜	3年制	S13年4月から S15年3月まで	卒業(修了) 中退
△△ 大学	経済学部	経済	専攻コース	夜	4年制	S16年4月から S21年3月まで	卒業(修了) 中退

勤務先等 (1/2) 実務経歴の勤務先ごとに用紙を分けて記入して下さい。

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計
		年月~年月 年数月
■■工務店工務部工務課	埼玉県さいたま市大宮区〇-3	S22年4月~S27年8月 5年5月

在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月~年月	年数月		
S22年4月~S26年9月	4年6月	担当	工事の施工の技術上の管理に関する実務
S26年10月~S27年8月	0年11月	主任	工事の施工の技術上の管理に関する実務

建築実務の詳細		建築実務経験期間の合計		
		年月~年月	建築実務の割合	年数月
(1) 〇邸新築工事	埼玉県川越市〇〇3丁目△-1	S22年4月~S22年8月	100%	0年5月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務等)				
〇邸(木造2階建て住宅、延べ面積〇㎡)新築工事において、大工工事の施工管理のうち、全工程の工事(基礎工事から内装仕上工事まで)を担当した。				
(2) ◆邸増改築工事	埼玉県●町△△2番地144号	S22年9月~S22年11月	100%	0年3月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務等)				
◆邸(木造2階建て住宅)のリビング〇㎡の改修工事、居室〇㎡の増築工事において、大工工事の施工管理のうち、全工程の工事(基礎工事から内装仕上工事まで)までを担当した。				

「現在の勤務先」を記入する。自営で社名がない場合は「自営」、無職の場合は「無職」と記入する。

中学校卒業後の学歴を正確に記入する。「昼間の学校在学期間(中退者の在学期間を含む)」は実務経験に含めることができないため、中退した学歴も記入する。

実務経験の勤務先が何社あり、そのうちの何社目の「実務経歴書」であるかを記入する。

資料2「実務経験要件について」(8~11頁)を確認し、①~⑭の項目名を記入する。

「建築実務経験期間」の「年数月」の各欄の合計を記入する。「建築実務として認められない業務を行っていた期間」や「休職していた期間」等は含めることができない。

「建築実務の詳細」については、できるだけ具体的に記入する。

●実務経験の勤務先1社目：裏面

対象物件の名称等		対象物件の所在地		建築実務経験期間		
		年月~年月	建築実務の割合	年数月		
(3) X邸新築工事	◆邸増改築工事	S22年12月~S23年1月	100%	0年2月		
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務等)						
X邸(木造平屋建て住宅、延べ面積〇㎡)新築工事において、大工工事の施工管理のうち、全工程の工事(基礎工事から内装仕上工事まで)までを担当した。						

建築実務の詳細を記入する欄が不足している場合は、コピーをして使用するか、センターのホームページからダウンロードして使用する。

●実務経験の勤務先2社目：表面

別紙1 実務経歴書

別紙2「実務経歴証明書」と併せて受験申込書の「証明書等貼付欄」に貼付して下さい。

この書式を記入した年月日を記入する。

私は、二級建築士試験又は木造建築士試験を受験したいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和 2 年 4 月 11 日
氏名(自署) 建築 太郎

公益財団法人 建築技術教育普及センター理事長 殿

現在の勤務先	勤務先(部課名まで)	勤務先所在地(番地まで)	勤務先電話番号
			() -

学歴	学校名	学部名	学科・専攻名	昼夜間の別	修業年限	在学期間	卒業・中退の別	
	中学校				3年制	S・H S・H	年 月 日から 年 月 日まで	卒業
			科 専攻 科 専攻	昼・夜 昼・夜	年制	S・H・R S・H・R	年 月 日から 年 月 日まで	卒業(修了) 中退

勤務先等 (2 / 2) 実務経歴の勤務先ごとに用紙を分けて記入して下さい。

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	年月数
△△建設施工課	東京都墨田区〇〇1-7-12	28年4月～29年2月	4年3月	

在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
28年4月～29年1月	3年8月	技師	工事の施工の技術上の管理に関する実務
29年12月～30年6月	0年7月	技師	建築物の設計に関する実務

建築実務の詳細		建築実務経験期間の合計		
対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
		年月～年月	建築実務の割合	年月数
(1) 〇地区 建売住宅新築工事	東京都墨田区〇〇9丁目52-×	28年4月～29年3月	100%	1年0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
建売住宅(木造3階建て住宅、延べ面積〇m ²)新築工事において、建築一式工事の施工管理のうち、全工程の工事(基礎工事から内装仕上工事まで)を担当した。				
(2) ◇◆ビル新築工事	東京都足立区△△3丁目10番地	29年10月～30年1月	100%	2年2月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
◆◆ビル(鉄筋コンクリート造4階建てマンション、〇m ²)新築工事において、建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事およびコンクリート工事を担当した。				

2枚目以降も受験申込者本人が氏名を記入する。

2枚目以降は、「現在の勤務先」と「学歴」は省略してよい。

実務経験の勤務先が何社あり、そのうちの何社目の「実務経歴書」であるかを記入する。

資料2「実務経験要件について」(8～11頁)を確認し、①～⑭の項目名を記入する。

「建築実務経験期間」の「年月数」の各欄の合計を記入する。
「建築実務として認められない業務を行っていた期間」や「休職していた期間」等は含めることができない。

「建築実務の詳細」については、できるだけ具体的に記入する。

●実務経験の勤務先2社目：裏面

対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
		年月～年月	建築実務の割合	年月数
(3) △地区 建売住宅新築工事	東京都墨田区〇〇9丁目×-9	29年2月～30年3月	100%	0年4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
建売住宅(木造3階建て住宅、延べ面積〇m ²)新築工事の基本設計業務に従事し、そのうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。				
(4) ●邸改修工事	東京都足立区△△5丁目23-11	30年4月～31年6月	100%	0年3月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
●邸(鉄筋コンクリート造3階建て住宅)の改修工事(延べ面積〇m ²)の基本設計業務に従事し、そのうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。				

2. 「実務経歴証明書」の記入例

a) 証明者が「建築士事務所以外の法人」である場合

別紙2

実務経歴証明書

別紙1「実務経歴書」と併せて受験申込書の「証明書等貼付欄」に貼付して下さい。

証明を行った年月日を記入する。

令和 2年 4月 12日

公益財団法人 建築技術教育普及センター理事長 殿

「証明者」が所属する法人の「住所・所在地」を都道府県から番地まで正確に記入する。ビル名等がある場合は、その名称も記入する。

「証明者」が所属する法人の「電話番号」を市街地局番から正確に記入する。

■■工務店 代表取締役社長
普及 浩郎 印

○○建築士登録 第○○号

埼玉県さいたま市大宮区○-3

電話番号 048-753X-263X

担当: ■■工務店 工事部 工事課長 田中
 電話 090-7233-XXXX

受験申込者との関係 受験申込者が勤めていた法人の代表者

「証明者」と受験申込者との関係を記入する。

付された実務経歴書は、

下記の者が申し込んだ二級建築士試験
事実と相違のないことを証明します。

記

1. 受験申込者氏名

建築 太郎

受験申込者の氏名を正確に記入する。

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計:

5年 2月

別紙1「実務経歴書」の「建築実務経験期間の合計」欄に記入された期間が、事実と相違ないことを確認したうえで、期間の合計を記入する。

建築実務の内容:

- 邸(木造2階建て住宅、延べ面積120㎡)新築工事にて大工工事の施工管理を担当
- ◆ 邸(木造2階建て住宅)のリビング30㎡の改修工事、居室15㎡の増築工事にて大工工事の施工管理を担当
- × 邸(木造平屋建て住宅、延べ面積○㎡)新築工事にて大工工事の施工管理を担当
- 邸(木造2階建て住宅、延べ面積○㎡)新築工事にて大工工事の施工管理を担当

《備考》

- 1 この「実務経歴証明書」は、実務経歴書ごとに作成して下さい。勤務先が2箇所以上になる場合は、コピーをして使用するか、センターのホームページからダウンロードして使用して下さい。
- 2 証明者は、実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したうえで証明して下さい。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となります。

別紙1「実務経歴書」の「実務経験の対象となる業務の内容」欄に記入された内容が、事実と相違ないことを確認したうえで、内容を記入する。
実務の内容が複数ある場合は、全て記入する。(書ききれない場合は書式をコピーし、記入する。)

法人名・役職名を記入し、法人の代表者(代表権を持つ役員(取締役等))が記名・押印をする。

「証明者」が建築士の免許を有している場合は、建築士免許の種類、登録番号を記入する。

審査の段階で、「実務経歴書」及び「実務経歴証明書」の内容等について、証明者に問合せする場合がありますので、問合せ対応が可能な担当者氏名、部署名、日中連絡可能な電話番号を記入する。

b) 証明者が「建築士事務所」である場合

公益財団法人 建築技術教育普及センター理事長 殿

「証明者」が所属する建築士事務所の「住所・所在地」を都道府県から番地まで正確に記入する。ビル名等がある場合は、その名称も記入する。

「証明者」が所属する建築士事務所の「電話番号」を市街地局番から正確に記入する。

証明者
〇〇建築設計事務所
技術 花子 印
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地
東京都〇〇区△△3-10-X

電話番号
03-1234-XXXX

担当: 〇〇建築設計事務所 設計部 田中
電話 090-XXXX-XXXX

受験申込者との関係
事務所の開設者
東京都知事登録 第〇〇号

建築士事務所の開設者が記名・押印する。開設者以外の場合は、建築士事務所の管理建築士又は所属建築士が記名・押印する。また、建築士免許の種類、登録番号を記入する。

審査段階で問合せする場合がありますので、問合せ対応が可能な担当者氏名、部署名、日中連絡可能な電話番号を記入する。

「証明者」と受験申込者との関係を記入し、建築士事務所の登録番号を正確に記入する。

c) 証明者が「行政・独立法人」である場合

公益財団法人 建築技術教育普及センター理事長 殿

「証明者」が所属する行政・独立法人の「住所・所在地」を都道府県から番地まで正確に記入する。ビル名等がある場合は、その名称も記入する。

「証明者」が所属する行政・独立法人の「電話番号」を市街地局番から正確に記入する。

証明者
〇〇県〇〇市〇〇部
普及 健太 印
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地
東京都〇〇区△△2-5-7

電話番号
03-9999-XXXX

担当: 〇〇市〇〇部建築課 鈴木
電話 090-XXXX-XXXX

受験申込者との関係
申請者が所属する部署の所属長

受験申込者が所属する(していた)部署等の公印を有する所属長が記名・押印する。建築士免許を有している場合は、免許の種類、登録番号を記入する。

審査段階で問合せする場合がありますので、問合せ対応が可能な担当者氏名、部署名、日中連絡可能な電話番号を記入する。

「証明者」と受験申込者との関係を記入する。

d) 証明者が「教育機関」である場合

公益財団法人 建築技術教育普及センター理事長 殿

「証明者」が所属する教育機関の「住所・所在地」を都道府県から番地まで正確に記入する。ビル名等がある場合は、その名称も記入する。

「証明者」が所属する教育機関の「電話番号」を市街地局番から正確に記入する。

証明者
〇〇工業大学〇〇学部長
教育 士郎 印
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地
東京都〇〇区△△1-3-12

電話番号
03-9090-XXXX

担当: 〇〇工業大学〇〇学部建築学科 佐藤
電話 090-XXXX-XXXX

受験申込者との関係
申請者が所属する学部の学部長

学長(校長)又は学部長が記名・押印する。建築士免許を有している場合は、免許の種類、登録番号を記入する。

審査段階で問合せする場合がありますので、問合せ対応が可能な担当者氏名、部署名、日中連絡可能な電話番号を記入する。

「証明者」と受験申込者との関係を記入する。